



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-AA-22002C

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区鍛冶町2-2-1

<https://ecoleaf-label.jp>



安藤ハザマ
HAZAMA ANDO CORPORATION

東京貨物ターミナル駅事務所
Tokyo Freight Terminal Station Office



算定単位

建築物 1棟・耐用年数35年あたり

算定対象段階

最終財 中間財

資材製造段階、施工段階、修繕・改修段階、廃棄・リサイクル段階

製品の型式、主要仕様・諸元

建築規模：大規模建築

用途：事務所（一部飲食店）

建築面積：6,352 m² 延べ床面積：6,646 m²

階数：地上5階、塔屋1階

構造：鉄骨造、既製コンクリート杭基礎

問い合わせ先

安藤ハザマ 技術研究所 建築研究部

TEL:029-858-8811

登録番号	JR-AA-22002C
適用PCR番号	PA-241000-AA-05
PCR名	建築物（躯体および仕上げ材）
公開日	2022年11月30日
検証合格日	2022年11月29日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AA-22002C
検証有効期間	2027年11月28日

PCRLレビューの実施

認定日等 2022年11月16日

委員長 山岸 健

（一般社団法人サステナブル経営推進機構）

第三者検証者*

外部検証員 富永 聖哉

ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号：JR-AA-22002C



① CFP算定結果

算定単位 建築物 1棟・耐用年数35年あたり

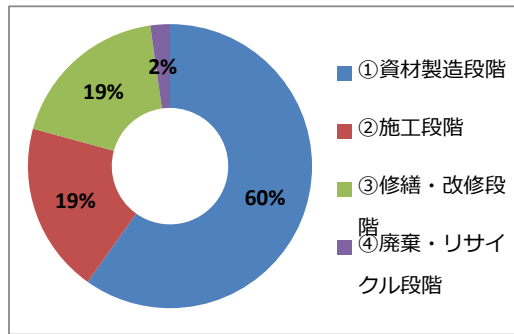
項目		数値	単位
CFP算定結果		14,000	t-CO₂eq
内訳	①資材製造段階	8,700	t-CO ₂ eq
	②施工段階	2,800	t-CO ₂ eq
	③修繕・改修段階	2,700	t-CO ₂ eq
	④廃棄・リサイクル段階	320	t-CO ₂ eq
数値表示		2.1	t-CO₂eq
表示単位：		床面積1m ² ・耐用年数35年あたり	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③ その他の環境関連情報

なし

② 算定結果に関する追加情報



設計情報に基づいた算定結果ですが、設備と建築物運用段階は調査範囲に含まれていません。また、施工プロセスの燃料消費量等にかかる負荷は、CO₂以外の温室効果ガスの排出は考慮していません。

④ CFP算定結果の解釈

資材製造段階におけるCO₂排出量が高い寄与を示しました。資材製造段階においては本建築物の主要な構造部材が鉄骨であることから鉄骨の影響が大きく、次いで既製コンクリート杭やコンクリートの影響が大きいことが確認できました。高性能な材料の適用や高効率の構法の採用による部材断面の合理化が、CO₂排出量削減にも一定の効果が期待できることが分かりました。修繕や改修が必要な建築資材についても一定の寄与が認められており、それらの資材の耐久性向上による長寿命化も効果的なCO₂排出削減策であることが分かりました。また、施工段階におけるCO₂排出量の寄与の影響も無視できない程度あり、施工時の省エネルギー化等も重要な要素であることが分かりました。以上の結果について、建築資材の投入量については当社データを用いていますが、建築資材製造時等のCO₂排出量は一般的なデータを用いているため、実際のCO₂排出量とは異なる場合があります。そのため、この数値は概算値としてご理解ください。

⑤ 使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 を使用し、PCR原単位で補完した。

⑥ 備考

2018年3月30日に公開したJR-AA-17001C東京貨物ターミナル駅事務所の再検証手続きをし公開したものである

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)
- 製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。